



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月29日

上場会社名 日本精線株式会社 上場取引所 東
コード番号 5659 URL <https://www.n-seisen.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）利光 一浩
問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）野村 和生 TEL 06-6222-5432
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月3日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	22,478	△3.8	1,194	△48.5	1,242	△46.9	902	△43.9
2025年3月期中間期	23,371	7.4	2,318	42.7	2,341	34.4	1,609	31.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,044百万円（△50.4％） 2025年3月期中間期 2,105百万円（35.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	29.41	—
2025年3月期中間期	52.49	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	55,603	42,116	74.5
2025年3月期	55,884	41,904	73.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 41,421百万円 2025年3月期 41,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2026年3月期	—	16.00			
2026年3月期（予想）			—	26.00	42.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	43,500	△7.0	3,200	△30.1	3,200	△30.2	2,300	△29.2	74.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	31,265,190株	2025年3月期	31,265,190株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	552,271株	2025年3月期	592,566株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	30,697,531株	2025年3月期中間期	30,672,934株

※ 当社は、「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めています。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

世界経済は、米国の通商政策の不確実性や中国経済の低迷に加え、中東情勢やロシア・ウクライナ戦争など地政学リスクは継続しており、景気の先行きの不透明感が大きくなっています。日本経済は雇用や所得環境の改善、好調なインバウンド需要などにより緩やかな回復基調が続いたものの、継続的な物価上昇や幅広い業界での人手不足問題などが景気の先行きに影響する可能性があります。

このような事業環境の中で、当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）は、2024年度より『第16次中期経営計画（NSG26）』（最終年度2027年3月期）をスタートし、①サステナビリティ成長分野に向けた高機能・独自製品の開発深化 ②生産基盤強化と生産性向上 ③水素回収技術の深化 ④ESG経営（資本コストや株価を意識した経営）を基本方針として企業価値向上に努めてまいりました。

結果として当中間連結会計期間の売上高は、224億78百万円（前年同期比3.8%減）となりました。損益については、金属繊維部門は堅調に推移しましたが、ステンレス鋼線の販売数量は前年同期比微増にとどまり、また太陽光発電パネルの製造プロセスで使用される極細線の需要の弱さが継続したことから減益となりました。この結果、営業利益11億94百万円（同48.5%減）、経常利益12億42百万円（同46.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益9億2百万円（同43.9%減）となりました。

製品別の売上状況は次のとおりです。

[ステンレス鋼線]

ステンレス鋼線においては、高機能・独自製品であるばね用材や自動車向けなど一部アイテムで前年同期比増加しましたが、建築関連向けの鉚螺用材が引き続き低調に推移するなど本格的な需要回復には至りませんでした。また、米国関税影響については一部アイテムにて数量の増減があったものの影響は限定的となりました。2025年度当中間期の販売数量は月当たり2,898トン（前年同期比1.4%増）となりました。太陽光発電パネルの製造プロセスで使用されるスクリーン印刷向け極細線は、中国での太陽光パネルの在庫調整の影響により大幅な受注減となりました。

LMEニッケル価格については、今年度に入り緩やかな下落基調が継続しており、2025年4～6月平均価格はポンドあたり6.88ドル、7～9月平均価格は同6.81ドルとなりました。

結果として、当中間連結会計期間におけるステンレス鋼線全体の売上高は187億8百万円（同5.3%減）となりました。

なお、海外現地法人については、THAI SEISEN CO., LTD. 及び大同不銹鋼（大連）有限公司とも減収となりました。

[金属繊維（ナスロン®）]

金属繊維においては、半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（NASclean®）に対する需要は回復傾向となりました。また、第1四半期には半導体製造装置メーカー向けで米国関税影響回避のための仮需が一部に見られたこともあり販売増となりました。当中間連結会計期間における売上高は21億98百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

ナスロン®フィルターについては、ポリエステルフィルム用途は販売が低迷した前年同期に比べ増加となり、また海外の炭素繊維関連も大型案件を中心に堅調に推移しましたが、中国向けのポリエステル繊維やレーヨン繊維などの化合繊維向けが大きく減少したため、当中間連結会計期間における売上高は15億71百万円（同6.2%減）となりました。

結果として、当中間連結会計期間における金属繊維部門の売上高は37億70百万円（同4.2%増）となりました。

なお、海外現地法人の耐素龍精密濾機（常熟）有限公司は減収となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は556億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億81百万円減少しました。流動資産は現金及び預金や売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べ11億25百万円減少しました。固定資産は建設仮勘定の増加などにより、8億43百万円増加しました。

負債は134億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億92百万円減少しました。流動負債は未払法人税等の減少などにより、前連結会計年度末に比べ4億43百万円減少しました。固定負債は49百万円減少しました。

純資産は421億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億11百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億16百万円減少し、157億63百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ1億58百万円減少し20億83百万円の収入となりました。これは、税金等調整前中間純利益の減少及び売上債権の減少などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ10億40百万円支出が増加し18億83百万円の支出となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ2億11百万円支出が増加し9億46百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払による支出が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね2025年4月28日公表の予想どおりに推移しており、業績予想に変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,065	16,574
受取手形及び売掛金	7,705	6,960
電子記録債権	2,064	1,856
商品及び製品	3,070	3,271
仕掛品	4,610	4,781
原材料及び貯蔵品	3,266	3,197
その他	338	353
流動資産合計	38,121	36,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,109	5,105
機械装置及び運搬具（純額）	6,748	6,396
土地	1,667	1,676
リース資産（純額）	14	11
建設仮勘定	1,677	2,881
その他（純額）	527	518
有形固定資産合計	15,745	16,589
無形固定資産	155	180
投資その他の資産	1,861	1,837
固定資産合計	17,763	18,606
資産合計	55,884	55,603
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,475	6,669
電子記録債務	4	21
短期借入金	257	179
未払法人税等	825	343
賞与引当金	733	758
役員賞与引当金	39	-
その他	990	910
流動負債合計	9,326	8,882
固定負債		
役員株式給付引当金	102	85
退職給付に係る負債	4,212	4,286
環境対策引当金	211	165
その他	126	66
固定負債合計	4,653	4,604
負債合計	13,980	13,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,558	5,558
利益剰余金	29,228	29,264
自己株式	△393	△357
株主資本合計	39,393	39,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	36
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	1,520	1,677
退職給付に係る調整累計額	266	242
その他の包括利益累計額合計	1,814	1,955
非支配株主持分	696	694
純資産合計	41,904	42,116
負債純資産合計	55,884	55,603

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	23,371	22,478
売上原価	19,244	19,477
売上総利益	4,127	3,000
販売費及び一般管理費	1,808	1,805
営業利益	2,318	1,194
営業外収益		
受取利息	15	26
受取配当金	1	1
仕入割引	12	13
受取補償金	8	17
受取賃貸料	12	12
為替差益	-	4
その他	1	1
営業外収益合計	51	76
営業外費用		
支払利息	2	1
支払補償費	1	9
固定資産除却損	3	4
為替差損	17	-
その他	4	13
営業外費用合計	29	28
経常利益	2,341	1,242
特別損失		
固定資産売却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前中間純利益	2,341	1,241
法人税、住民税及び事業税	738	272
法人税等調整額	△28	51
法人税等合計	709	324
中間純利益	1,632	917
非支配株主に帰属する中間純利益	22	15
親会社株主に帰属する中間純利益	1,609	902

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,632	917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	9
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	479	141
退職給付に係る調整額	△0	△24
その他の包括利益合計	473	126
中間包括利益	2,105	1,044
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,031	1,043
非支配株主に係る中間包括利益	73	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,341	1,241
減価償却費	844	820
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	121	36
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	28	18
賞与引当金の増減額(△は減少)	24	25
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△39	△39
環境対策引当金の増減額(△は減少)	-	△46
受取利息及び受取配当金	△17	△28
支払利息	2	1
為替差損益(△は益)	1	2
有形固定資産売却損益(△は益)	-	0
有形固定資産除却損	3	4
売上債権の増減額(△は増加)	△155	956
棚卸資産の増減額(△は増加)	△677	△269
仕入債務の増減額(△は減少)	722	189
その他	△419	△101
小計	2,782	2,813
利息及び配当金の受取額	12	27
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△551	△754
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,241	2,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△448	△584
定期預金の払戻による収入	325	380
有形固定資産の取得による支出	△703	△1,635
有形固定資産の売却による収入	-	0
その他	△15	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△842	△1,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△81	△81
リース債務の返済による支出	△4	△3
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△648	△859
非支配株主への配当金の支払額	△0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△735	△946
現金及び現金同等物に係る換算差額	185	30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	849	△716
現金及び現金同等物の期首残高	14,608	16,479
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,458	15,763

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	タイ	中国・韓国	計		
売上高						
ステンレス鋼線	17,564	2,025	165	19,755	—	19,755
金属繊維	3,053	—	562	3,616	—	3,616
顧客との契約から生じる収益	20,618	2,025	727	23,371	—	23,371
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,618	2,025	727	23,371	—	23,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	89	861	140	1,091	△1,091	—
計	20,708	2,886	868	24,463	△1,091	23,371
セグメント利益	2,113	92	150	2,356	△38	2,318

(注) 1. セグメント利益の調整額△38百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	タイ	中国・韓国	計		
売上高						
ステンレス鋼線	16,667	1,932	107	18,708	—	18,708
金属繊維	3,447	—	323	3,770	—	3,770
顧客との契約から生じる収益	20,115	1,932	431	22,478	—	22,478
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,115	1,932	431	22,478	—	22,478
セグメント間の内部売上高又は振替高	99	852	249	1,201	△1,201	—
計	20,214	2,784	680	23,679	△1,201	22,478
セグメント利益	1,078	65	70	1,215	△20	1,194

(注) 1. セグメント利益の調整額△20百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。